

社会福祉法人安房広域福祉会 広報誌

# にじのかけはし

vol.

51

2020.12



発行年月日  
令和2年 12月1日

発行  
社会福祉法人 安房広域福祉会  
〒294-0231 千葉県館山市中里291  
TEL 0470-28-2422  
FAX 0470-28-2424  
<http://www.nakazato.or.jp/>

こすもす

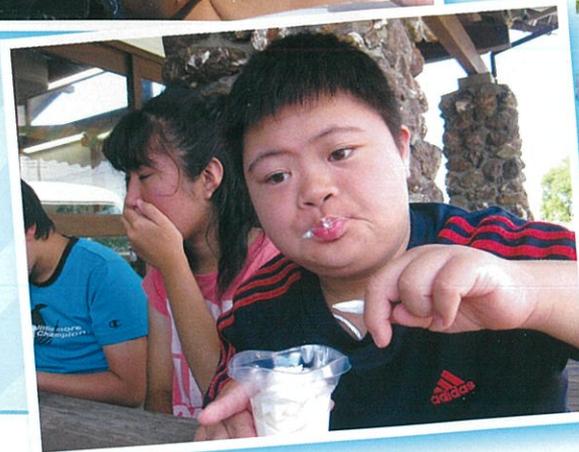
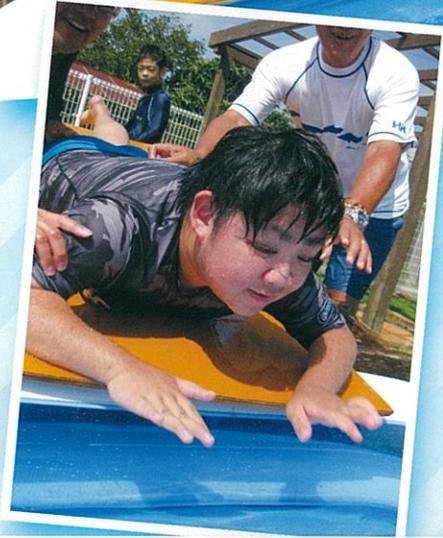
# 楽しかった夏休み！

保育士 石井 真理子

消毒・マスク・検温・ソーシャルディスタンス……こんな言葉ばかり飛びかっている世の中。今年の夏休みはどうなるのだろっ！私たちにはそんな不安がありました。でも！やっぱり！訪れたのは、「待ってましたの夏休み！今年も昨年より少し大きなプールに、職員手作りのスライダーを取りつけました！こすもすに子供たち皆の笑い声と、楽しそうな水の音が響きわたりました。

今年の外出は、プチっとふれあいショップに行きました。皆で食べるアイスやかき氷は格別。皆、「私はいちご〜」「僕はね〜バナナ」と選ぶ目もキラキラしていました。

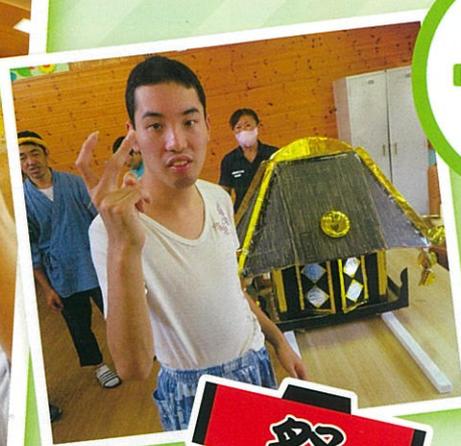
今年もたくさんさんの笑顔があふれた夏休み。こんな世の中だっって「普通」に楽しむ事ができたのは、楽しむ為徹底して予防・対策してきた事、保護者の皆様のご理解があったからこそだと思えます。コロナになんて、負けませんから！



中里の家

# 夏祭り

支援員 小原 美由紀



今年の夏祭りは、新型コロナウイルス感染症防止から各事業所で利用者の皆様に楽しんでいただける企画を立案することになりました。

中里の家では・・・食堂へ出店を並べる事になった今年の夏祭り！何が食べたいですか？と聞くと「ポテト、たこ焼き、焼きそば、かき氷」と皆さんから色々な意見が出た為様々な種類を取りそろえた6ブースを用意することになりました。空間に配慮し、時間の調整を行いながらグループで入室してもらったり、消毒を行うことなど、感染症への対策も徹底しながら、中里の家夏祭りが開催となりました。

『じゅひゃら』食堂内から笛や太鼓のお囃子の音色が聞こえてくると、皆さんの気分も盛り上がっていきました。かき氷の味を選んだり、ジュースを選んだり皆さん嬉しそうなお様子です。外では中里ワークホームの方にも協力して頂き、鉄板で作った出来立ての美味しい焼きそばを提供することができました。

御神輿無しでは祭りが始まらない!!ということ、午後からは、職員が手作りで作成した御神輿を担ぎ、館内を練り歩きます。大きな掛け声と皆さんの手拍子が館内に広がり、楽しい表情を見ることができました。

保護者会の皆様からお菓子の寄付を頂き、抽選会を行うことが出来ました。例年とは違った夏祭りでしたが、皆様の協力を得て盛り上げをみせた夏祭りとなりました。

ご協力頂いた皆様ありがとうございました。

ハロウィンイベント

支援員 庄司麻衣子

例年実施している「ふれあい祭」が新型コロナウイルスの影響で中止。その代わりに催しとして、この季節にしか楽しめないイベントを！ということで、中里の家では10月29日にハロウィンイベントを開催しました。

館内を飾りつけし、ハロウィンのBGMをかけ、利用者の皆さんも魔女帽子やフェイスベイントで仮装しての参加となりました。昼食は秋晴れの中庭で、中里ワークホームのラーメンや作業班の焼き芋、ポップコーンやベビーカーカステラ等、いろいろなメニューをお腹いっぱい召し上がっていただきました。

午後は食堂で、音楽発表と仮装大会、機能班の音楽発表では「元気よく」と「手をたたきましよう」を熱唱！職員は「夢をかなえてドラえもん」「パプリカ」を皆さんと踊りました。そして、最後に仮装大会！利用者さんを楽しませようと、この日の為に厳選された職員によるステージです。今年大ヒット「香水」を替え歌で「笑、魔法使いサリー」と「魔法シャボン玉ノッポさん&ゴン太くん」のこの絵は何でしょう？、中里の半沢直樹、変なおじさん達（笑）：どれもこれも大爆笑！大拍手！たくさん食べて、たくさん笑って、とっても楽しい一日になりました。



## ワークス 館山

### 心の収穫を目指して

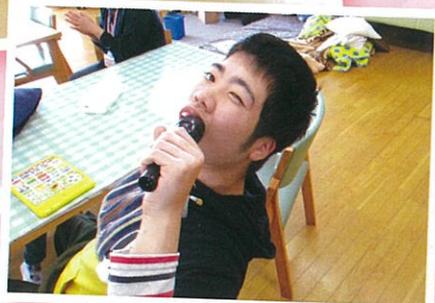
主任 江部 徹

ワークス館山の農耕班では、現在秋冬の花苗の生産で大忙しの日々を送っております。  
 今年は更に受注も増えて、今までのパンジーや葉牡丹に加え、アリッサム、カレンジユラの生産が新たに加わりました。中でもパンジーは温暖な房州では難しい為、月一回専門家による指導を受けながら、生育を見守る毎日が続いておりますが、ワークスの利用者さんの日々の努力が報われる結果となりそうです。  
 時には失敗もありますが、日々の様々な経験を通して確実に成長を続ける利用者の皆さんは少しずつ『自信』というものを身につけており、これこそが一番うれしい収穫だと私は感じております。



## 桜の里

### 月に一度のお楽しみ会



支援員 磯川 麻美

9月21日敬老の日に、お楽しみ会を開催しました。今回は、カラオケとホットケーキ作りの二班に分かれて行い、カラオケでは、歌の熱唱、周りの皆さんは鈴を持っての応援と、まるでライブ会場のような盛り上がりでした。ホットケーキ作りでは、卵を割り、粉と牛乳を混ぜホットプレートへいざ投入。ひっくり返すのもお手のもの、皆さん上手にできました。  
 さあ、待ちにまった会食タイム。自分たちの作ったホットケーキは格別のように、あつという間に完食されました。  
 次回も皆さんが楽しみにしてくれていると嬉しいです。

## 中里 ワークホーム

### 稲刈りを終えて

支援員 国本晴二

今年の稲刈りが終わり数か月が経ち、皆様の食卓に新米が届いた頃と思いますが、お味の方は如何だったでしょうか？  
 今年は長雨や急激な気温上昇等が有り、稲刈りが終わるまで不安な毎日でした。  
 少しでも良いお米をお届け出来るよう、水田の水量管理に細心の注意を払い、また、泥だらけになり水田内の草取りを行ってまいりました。昨年は台風災害が有り、少しも早く稲刈りを始めたい気持ちもありましたが、長雨による日照不足の為に稲刈りの予定変更や、刈る水田の順番を考え稲刈りを進めました。色々な工夫が功を奏し、稲が倒れてしまうことなく順調に稲刈りを終了する事が出来ました。  
 今年は感染症が流行しておりますので、美味しいお米をモリモリ食して頂き、体力をつけて元気に過ごして頂ければと思います。  
 来年も色々な工夫、努力を行いまして皆様に美味しいお米をお届け出来る様に努めて参ります。



## 中里の家

### さつま芋豊作

支援員 伊藤学

「こんなに大きなさつま芋が取れたよ」「さつま芋掘り楽しいな」「焼き芋が早くたくさん食べたい！」とある日の畑ではこんな楽しい会話がたくさん交わされていました。

秋の風物詩といえるさつま芋収穫。昨年はインシシにより全滅という悲惨な状況でした。今年は何んとか収穫を！と職員利用者さん共々張り切り、防獣ネットを張りました。しかし、そんな中でもネットをかいぐぐって収穫直前の芋を荒らす猪が出現。今年は負けないぞ！とすぐにネットを補強＆更に強化を行いました。職員の執念？によって、それ以上は荒らされる事なく、無事にさつま芋収穫となった訳です。利用者さんのワクワク・ドキドキは止まらず、日頃のストレスを発散するかのようにはさつま芋掘りを楽しんでいました。(職員もとても楽しんでいましたよ。)。さつま芋とったど〜！(皆の心の叫び)！



## 桜の里

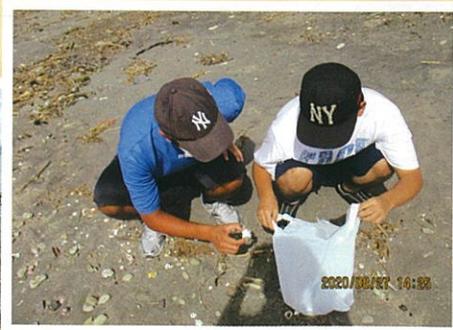
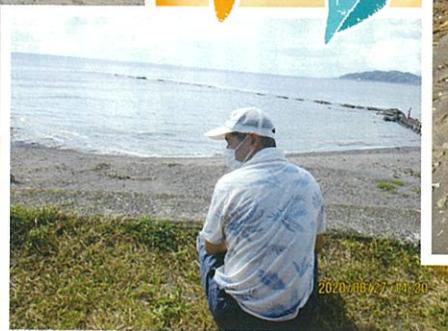
### 貝殻拾ってDIY

支援員 山下和博

桜の里では、利用者さんの感性・自主性を大切に、毎月、季節や行事をテーマにした作品を設定し、物作りを通して季節の変化や完成する喜び、達成感を味わって頂くことを目的とし、創作活動を行っています。

8月は、貝殻を使用した装飾作りがテーマとなり、感染症対策を徹底しながら、貝殻拾いを行って頂きました。海藻や流木に興味を示される利用者さんもあり、皆さん思い思いの貝殻を拾っていました。

持ち帰った貝殻は水洗いし、消毒をしてから作品作りを行いました。ペットボトルに貝殻を付けたり、色を塗った貝殻に穴を開けて紐を通し、流木に括り付け、貝殻カーテンの完成。夏にぴったりなDIY作品が出来上がりました。



## 連携強化の一環として

主任就業支援員 金木 隆裕

中里がナカポツ事業を展開して10年が経ち、地域における役割・雇用の在り方・雇用環境も徐々に変わってきた中で、支援者側もタイムリーに課題やニーズを捉えられる視野をより求められるようになってきたと感じます。その中で、支援学校からも進路担当だけでなく、高等部に所属する教員にも広く就労に関して、現場の様子・就職・就労定着するには何が必要かという内容を伝えてほしいという事で、今回福祉サービスの内容も含めてお話しさせていただきました。

この機会というのは、我々支援者側にとっても貴重な時間だと思いい、進路担当の先生との連携だけでなく、担任の先生とも関わられる事で、卒業前から多くの情報を互いに共有し、生徒を中心に置く中で進路決定まで進める環境を整える一歩になったと感じました。

今ある福祉機関の枠の中での連携だけでなく、より広くメディア等にも発信しながら連携のパイプを太く強く、そして拡げていく取り組みの必要さを強く感じる機会となりました。



## 来年こそは「晴れ！」を願う研修旅行

南房総高次脳機能障害家族と支援者の会事務局 稲毛 幹雄

「高次脳機能障害」という名称はご存知だと思います。「南房総高次脳機能障害家族と支援者の会」という家族会が南房総地区にあります。会員20名くらいで「高次脳機能障害」を広く理解してもらおう活動をしており、中里ワークホームさんも支援団体として協力いただいています。

家族会では「安房の歴史を学ぼう」という趣旨で2018年から年一回「三研修旅行」を開催、毎年の中里の希望者のみなさんも参加しています。

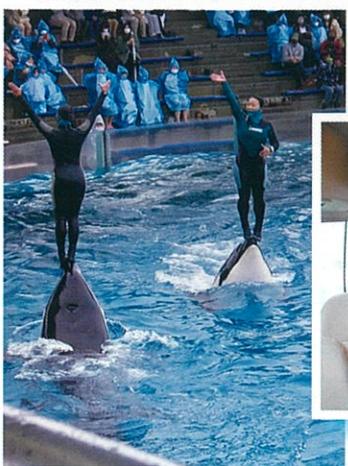
2018年6月は14人で小湊誕生寺⇨清澄山を散策、あいにくの雨模様でした。2019年11月は23人で嶺岡牧場⇨伊予ヶ岳⇨錦山を歩く予定でしたがまたも雨になり、急遽屋根がある木更津イオンモールに変更。

そして今年（2020年）は19人（中里11人、家族会8人）で晴れたらマザー牧場、雨なら鴨川シーワールドを予定し、結果は鴨川シーワールドへ。

3年連続で雨に見舞われましたが、家族会と中里のみなさんと、5時間にわたって海の生物やシャチイルカのショーを楽しんできました。来年こそは「晴れ！」を願いつつ、次はどこへ行きましょう？

ご近所やお知り合いに高次脳機能障害の方がいらっしゃいましたら、こんな家族会があることをお知らせいただければありがたいです。

詳しくはホームページをご覧ください。  
<http://www.nanbou-kouzi.com>



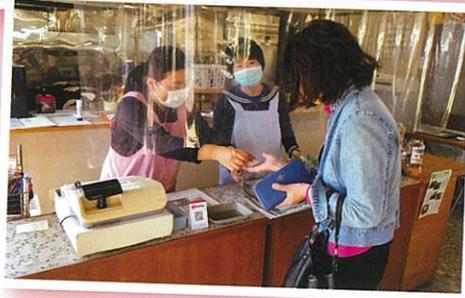
ふれあい  
ショップ  
平砂浦

地域の方々とともに

ふれあいショップ平砂浦は、利用者の方々のお仕事の場であり、地域の方々とのふれあいの場でもあります。担当の方はレジを打ったり品出しをしたり、軽食のウエイトレスや洗い場やお掃除と元気に働いてくれます。そんな彼らを優しく支えてくださるのがお客様です。

5月以降野菜の品揃えに力を入れると同時に、生産者の方がっかりしないように売り切る販売努力も責任となります。新鮮な品を安く提供する直売所としての日々の営業が少しづつ実り、毎日の売り上げの大半は委託野菜に代わってきました。次なるチャレンジは出張販売です。地域からの声でお年寄りの方々の買い物が不便で出張販売できないかとお声をいただき、まずは試行的にですが11月19日から隔週の木曜日に富崎地区で出張販売を始めることとしました。

売り上げの向上ももちろん、小売販売所として地域の皆様のお役に立てるよう頑張っていこうと思います。



和麺家  
中里

土鍋で熱々メニュー



鍋焼きうどん



けんちゃんうどん

支援員 小池 雄吾

段々と寒くなり、温かい食事がおいしい季節になりました。そこで和麺家中里の冬のオススメ土鍋メニューはいかがでしょうか。冬の定番「鍋焼きうどん」に加えて、具がたっぷり入った「けんちゃんうどん」。どちらも冬季限定の人気メニューです。その他、不動の定番「カレーうどん」もございます。

寒い日は熱々メニューで寒さを吹き飛ばしましょう。ご来店お待ちしております。

営業日・時間

月～金曜日  
11:30～13:30

お問い合わせ先

和麺家中里

千葉県館山市北条1239-1  
電話番号  
0470(25)7322

最新情報はこちら



社会福祉法人  
安房広域福祉会HP



ボランティア募集

中里の家・中里ワークホームでは、随時ボランティアを募集しています。作業など一緒に参加して下さる方、心よりお待ちしております。まずはお電話にてお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先・連絡先

● 中里の家  
館山市中里288-1  
TEL 0470 (28) 2022  
FAX 0470 (28) 2023  
nakazato-ie@minos.ocn.ne.jp

● 中里ワークホーム  
館山市中里291  
TEL 0470 (28) 2422  
FAX 0470 (28) 2424  
nakazato-workhome@m2.dion.ne.jp